

『理科における**探求的な学び**

及び

学習評価の充実』



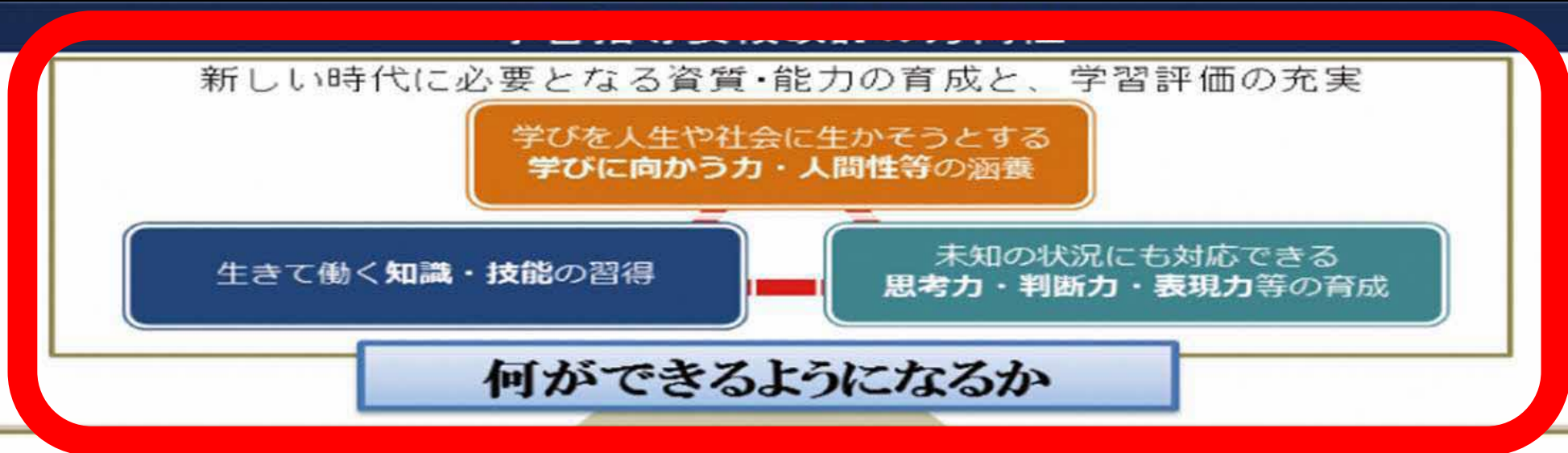
北海道札幌東陵高等学校 高畑 浩二

はじめに：自己紹介

高畑浩二（たかはたこうじ） 47歳

- ・ 大分県佐伯市出身
- ・ 東邦大学理学部化学科卒業
- ・ 30歳まで大分県で講師など経験
- ・ 根室西→木古内→大野農業→札幌東陵
- ・ 進路指導部長の12年間で
企業や上級学校と太いパイプを築く

1 : 新学習指導要領から考える探究的な学びと学習評価



よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む
「**社会に開かれた教育課程**」の実現
各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要な資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない※

どのように学ぶか

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」）の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得
など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

主体的な学び
対話的な学び
深い学び

※高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で関わることが課題になっており、

2 : 何が出来るようになるか…

新しい時代に必要となる資質・能力の育成と、学習評価の充実

学びを人生や社会に生かそうとする
学びに向かう力・人間性等の涵養

生きて働く知識・技能の習得

未知の状況にも対応できる
思考力・判断力・表現力等の育成

何が出来るようになるか

キーワード **観点別評価**

2 : 何ができるようになるか…

育成すべき資質・能力の三つの柱



学習する子供の視点に立ち、育成を目指す資質・能力の要素を三つの柱で整理。

学びに向かう力, 人間性等

どのように社会・世界と関わり,
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか

知識及び技能

理解していること・できる

思考力, 判断力, 表現力等

2 : 何ができるようになるか…

知識及び技能

思考力, 判断力, 表現力等

学びに向かう力, 人間性等

2：何ができるようになるか…

観点別学習状況の評価の観点の整理



資質・能力の三つの柱に基づいた目標や内容の再整理を踏まえて、観点別学習状況の評価の観点については、小・中・高等学校の各教科等を通じて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に整理。

<現行>

関心・意欲・態度

思考・判断・表現

技能

知識・理解



<新>

知識・技能

思考・判断・表現

主体的に学習に
取り組む態度

2 : 何ができるようになるか…

知識 ・ 技能

思考 ・ 判断 ・ 表現

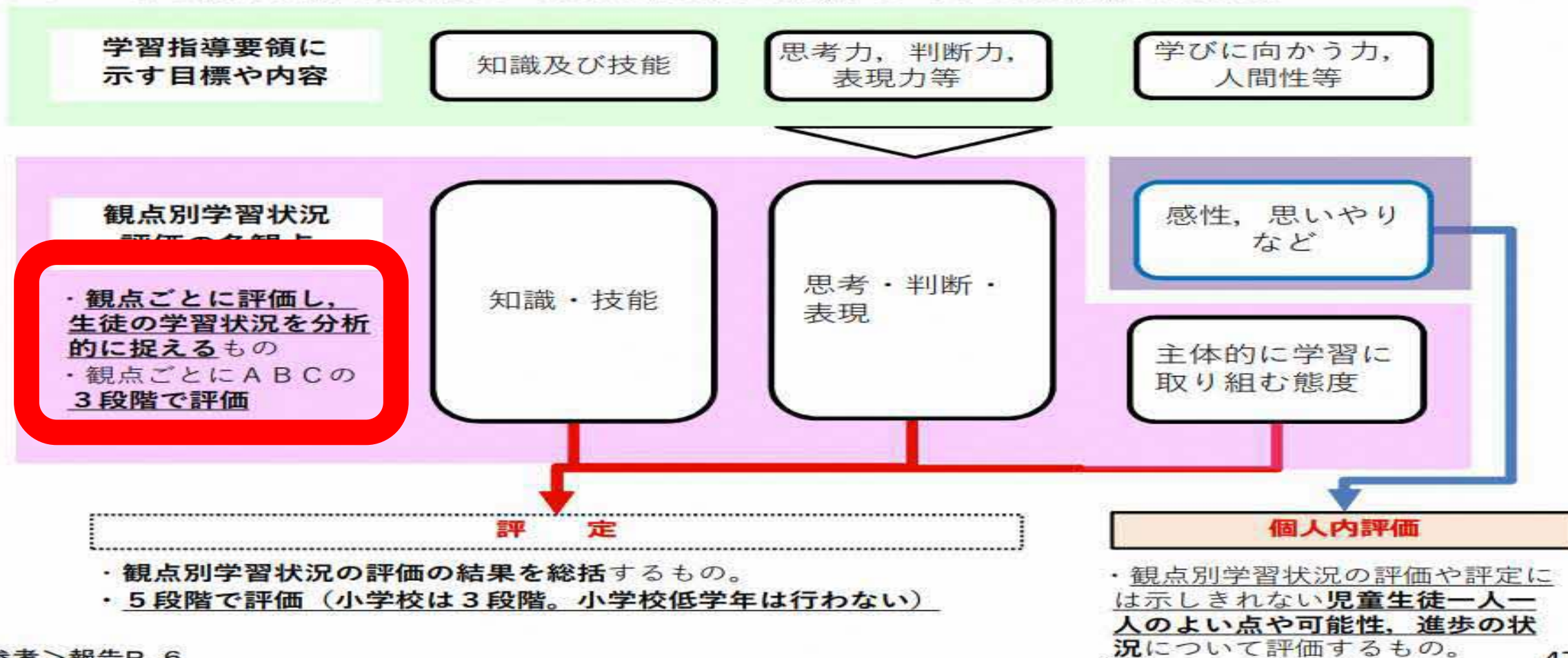
**主体的に学習に
取り組む態度**

2：何ができるようになるか…

【まとめ】各教科における評価の基本構造



- ・各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの（目標準拠評価）
- ・したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なる。



2 : 何ができるようになるか…

- ・ 観点ごとに評価し、
生徒の学習状況を分析的に捉えるもの
- ・ 観点ごとにより A B C の
3段階で評価

2 : 何ができるようになるか…

第1学年

学習状況

観点別

評定

修得単位数

AAA

5

2

2 : 何ができるようになるか…

知識・技能



テスト

思考・判断・表現



週末課題

**主体的に
学習に取り組む態度**



**個々の能力に
応じた学習**

2 : 何ができるようになるか…

知識・技能



テスト

① **定期テスト【〇〇%】**

② **小テスト【〇〇%】**

③ **実験実技テスト【〇〇%】**



〇〇点以上 = **A** 〇〇点以上 = **B** 〇〇点未満 = **C**

③ 実験実技テスト 【○○○%】

ろ過・蒸留・炎色反応

沈殿反応・ガスバーナー

分子模型

電解質と非電解質・濃度・比重

中和滴定・酸化還元・金属定性